

令和6年3月13日

COOP トリプルカード みやぎスマイル基金 助成活動報告書

団体・学校名	宮城県角田高等学校
連絡先	熊谷 正太 (役職) 教諭 (電話) 0224-63-3001 (FAX) 0224-63-0523 (e-mail) kumagai-sho383@td.myswan.ed.jp (ホームページ) https://kakuko.myswan.ed.jp/
代表者名	井上 健一 (役職) 校長

1. 助成事業報告

事業名	総合的な探究の時間「角高夢 Project」
目的	「自己理解」「地域連携」「キャリアデザイン」を3本柱として角高生の多様な夢（進路ニーズ）に合わせた「自己実現」を達成する。 - 総合的な探究の時間を通して「本校で育てる6つの力」（志す力、挑む力、伝える力、関わる力、認める力、創る力）を育成する。
実施内容	参加対象：本校生徒 <取組の概要> ○ 自己理解と地域社会の理解 ○ 自分の夢と地域社会の現状把握・課題の発見 ○ 自分の夢を実現するための課題研究 ○ 地域社会の民間企業、市役所等の行政機関、学校等を訪問した実態調査 ○ 教員のスキルアップ研修 <具体の取組> (1年次) ①自己理解ワーク・人生グラフの作成 ②ちょこっとプロジェクト・ 角田市ヒューマンライブラリー ③外部講師による研修・WS ④校外研究（地域の実態・課題把握、地域との連携）・角田サイエンス研修（JAXAの研究機関を訪問） ⑤自分の夢と地域課題を結び付けて、自分にできることを実践する。 ⑥研究のまとめ ⑦発表・報告会

	(2年次) ①テーマの更新・マイプロジェクトの立案 ②調査アクション・解決アクション・ 角田市ヒューマンライブラリー ③外部講師による研修・WS ④校外研究(地域の実態・課題把握、地域との連携)・角田サイエンス研修(JAXAの研究機関を訪問) ⑤研究のまとめ ⑥発表・報告会 (3年次) ①1年次・2年次の研究のまとめと発表 ②夢実現(進路実現)へ向けたアプローチ ③外部講師による研修
開始から終了までの流れ	(1年次) ①自己理解ワーク ②ちょこっとプロジェクト ③角田市ヒューマンライブラリー ④探究テーマの設定 ⑤調査アクション ⑥校外研究 ⑦描きたい未来・社会の検討 ⑧中間発表会 (2年次) ①探究テーマの更新 ②角田市ヒューマンライブラリー ③調査アクション ④校外研究 ⑤中間発表会 ⑥解決アクション・マイプロジェクト ⑦角高夢 Project 発表会(成果発表会) (3年次) ①アブストラクトシート作成 ②夢実現(進路実現)へ向けたアプローチ
活動の成果と教訓	生徒一人一人が、「自分」の興味や関心をきっかけとした探究テーマを設定し、「自分」が描きたい未来や社会を想像しながら、そのテーマを深化させ、それぞれが課題解決に向けたアクションを実施した。例えば、給食の食品ロスについて興味を持つ生徒は、「給食の食品ロスを減らすためには」というテーマで活動し、角田市内の小・中学校や学校給食センターにインタビューを実施したのち、「食べ残しゼロ」を促すポスターを作成・掲示し、残量の変化について検証した。また、教員志望の生徒は、「わからないをなくす授業とは」というテーマで活動し、小学6年生を対象とした学習会を実施すべく、角田市教育委員会に交渉するための企画書を作成したり、指導案を作成したりして、自身の夢や描きたい未来・社会の実現に向け、主体的にプロジェクトを実行した。その結果、令和6年2月に実施した「本校で育てる6つの力」(志す力、挑む力、伝える力、関わる力、認める力、創る力)

	の自己変容や自己成長を測る調査では、すべての項目において、非常に前向きな回答が得られた。
今後の展望など	次年度は、1年次で新たに「地域課題探究」を実施する予定である。これは、角田市役所と本校が連携し、角田市が抱える地域課題の解決に向けて、生徒一人一人が「角田市」をフィールドにアクションしていくものである。これにより、本校生徒は、自分の「興味や関心」の解決に着目した探究プログラム「ちょこっとプロジェクト」と、自分にゆかりのある「角田市」という地域社会の課題解決に着目した探究プログラム「地域課題探究」の両方を経験することになる。これは、マイテーマ設定の際に『「興味や関心」と「地域社会から求められていること」の共通部分』や「描きたい未来・社会」を考える大きなヒントになり、本校の探究活動をさらに加速させていくための起爆剤になるものと考えている。

2. 助成金使途報告書

(1) 収入の部（助成の対象となった事業の分のみ）

確保した資金内容	金額（円）	備考
みやぎスマイル基金	300,000	
合計	300,000	

(2) 支出の部（助成の対象となった事業の分のみ）

費目	内容	予算額	実支出額	助成金からの支出額	領収書 No.
報償費	R5/6/23 大学出張講義講師への謝金	16,000	16,000	16,000	1
	R5/10/23 公開授業研究会講師への謝金	84,000	84,000	84,000	2
旅費	R5/6/23 大学出張講義講師への旅費	2,976	2,976	2,976	1
	R5/10/23 公開授業研究会講師への旅費	96,840	96,840	96,840	2
需用費	1年次総合的な探究の時間用消耗品購入①	1,692	1,692	1,692	3

	1 年次総合的な探究の時間用消耗品購入②	4,585	4,585	4,585	4
	モノラルマイクロホン	5,940	5,940	5,940	5
合計		212,033	212,033	212,033	

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

*収入の合計と支出の合計が一致していることをご確認ください。

3. 送付必要書類

- (1) みやぎスマイル基金 助成活動報告書
 - (2) 領収書のコピー（助成金から支出した分のみ）番号を振ってください
 - (3) 成果物（活動をまとめた冊子、パンフレットおよび写真※など）
- （※写真は HP・SNS 等に掲載可能なものを送付ください。）

給食の食品ロスを減らすためには

角田高等学校2年



岡崎 真美
佐藤 遥

テーマ設定のきっかけ

中学校まで身近だった給食は残す人が多く見られた。
そんな中、給食の食品ロスは現在どのくらいの量になっているのか。どうしたら私たちの力で減らすことができるのか、気になったため。

■調査

角田市(人口少)

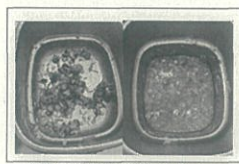


残量の行き先

白米→燃えるごみ
肉・魚・野菜→肥料に

取り組み

- ・具材の切り方の工夫
→小さく切る
- 行事に合わせて切る
- ・食品の知識指導
→食育によって食品を
残さないきっかけを作る



実際の中学校の食育の様子

☆食育とは
栄養・食習慣・マナー・食べ方の
ことを指す
生きる基本を「楽しく」
食べながら教える、教わる

比較

仙台市(人口多)



残量の行き先

白米・肉・魚・野菜
→全て肥料に

取り組み

- ・給食中の工夫
→「もぐもぐタイム」など
給食に集中できる時間を
設ける
- ・先生達の工夫
→先生が生徒の机に、直接
渡しに行く
- ・食品の知識指導

仙台市はゴミを
出さずに処理◎
(ミカンの皮も肥料に)



大量のロス

おかわりがしにくい
生徒でも沢山食べることが
出来る

給食を食べている時に
「目に入りやすい」前の壁に
・意識が向く

■目標



給食の食品ロスが
少ない未来

■まとめ

探究を通して、給食を残さないようにしてもらうために小学生や中学生にわかりやすくポスターで伝えるのは難しいと感じました。そして結果としては、ポスター掲示後の約2週間で約1%減らすことが出来たので、誰かに私たちの思いが伝わったのかなと思うと嬉しかったです。これが継続的に続くことが出来るアクション案も考えたいです。

■方法論

～給食残量減らそう作戦～

方法: 小・中学校にポスターの掲示
(中学校には昨年作成したポスターも掲示)

実施日: 1月17日～1月26日

結果: 12月の平均残量率

小学校→17.0%

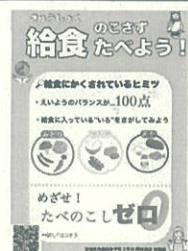
中学校→17.6%

ポスター掲示後

小学校→16.0%

中学校→16.7%

小・中学校どちらも
約1%減少!



実際に貼ったもの



貼っている様子

■今後の展望

やり残した事としては、給食の食品ロスを減らすためのアクションを沢山考えて様々な事に取り組めれば良かったです。そして、私たちは給食を食べることがもうできないので、実際に給食ロスの貢献は出来ませんが、家や外出先での食事を残さず食べて、少しでも日本全体の食品ロスを減らす取り組みに貢献したいです。

食物アレルギーの人でも制限なく 食事をする為にはどうすればよいか

宮城県角田高等学校 2年次 志子田凜 吉田さくら 小池美羽

テーマ設定のきっかけ

中学生のときの給食では、食物アレルギーを持っている人に対してのアレルギー対応メニューが無い為、本当は食べたいはずのメニューを食べられずに残していました。そのような人達が、自分の食べたいものを食べられるようにしたいと思ったからです。

調査アクションについて

調査①(校外研究先:ヘルシーハット)

私たちは9月7日に仙台にあるアレルギー対応メニューを販売しているヘルシーハットさんに訪問してきました。実際に提供しているハンバーガーとロールケーキを頂きました。

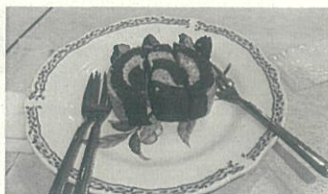
【食べてみての感想】

- ・普通のパンズよりも、生地がもちもちしていた。
- ・卵不使用のマヨネーズだったが違和感がなかった。
- ・米粉を使っている、生地がパンズと同じようにもちもちしていた。
- ・卵不使用のクッキーも普通のものと変わらなかった。

【学んだこと】

アレルギー不使用の料理は個人的に美味しくないという偏見を持っていたが、実際に料理を食べる事で普段自分達が食べている物と何ら変わらない味だと言うことが分かり、食物アレルギーを持つ人に対しての自分達の意識や、アレルギー不使用の料理に対しての考え方が変わりました。

アレルギー不使用の料理がまずいのは誤解！！



解決アクションについて

プロジェクト名

【アレルギーを使わないドーナツを試食してもらおう！】

プロジェクトの目的

アレルギー不使用の食品は普通の食品とあまり味の変化がなく、アレルギーを他のものに代替して普通の食品と同じように再現できるということを伝えるため。

プロジェクトの方法

アレルギー(小麦粉、牛乳、卵)を使用しないドーナツを作り、協力してくれる生徒、先生方菓子店のささもりさんに試食してもらい、アンケートに答えてもらう。



プロジェクトの結果

このドーナツを食べて、普通のドーナツと味の変化を感じたか。

20件の回答



● 味は変わった
● 味は変わらなかった

もし自分が大勢の人に料理を作るとして、その中に食物アレルギーを持っている人がいるとします。自分ならどのように作りますか。

20件の回答



● アレルギー不使用のメニューでアレルギー対応メニューを作る
● アレルギー不使用のメニューでアレルギー対応メニューを作らない

アンケートの結果、1つ目の質問では感じなかったと答えた人が68%で約7割弱の人が普通のドーナツとアレルギーを使用していないドーナツに味の変化を感じていませんでした。2つ目の質問では、全員同じメニューだが食物アレルギーを持っている人には代用品で作ると答えた人が84%でした。

半数以上の人にアレルギー不使用の食品は普通の食品と味の変化がなく、同じように再現できると伝えることができた。

菓子店のささもりさんに生地がパサパサしている、甘さが足りないなどのアドバイスをもらい新しくドーナツを作ったところ、前のドーナツよりも、生地のもちもち感や甘さが増してさらに良い物を作る事ができました。

描きたい未来→今後の展望

『食物アレルギーの人でも食物アレルギーを持っていない人と同じ食事を摂ることができる未来』

アレルギー不使用の料理をアレルギーを持っていない人にも知ってもらい
アレルギー対応食品に対する偏見を無くす

感想

この探究で食物アレルギーを持っても代用品を使えば同じ料理が食べられるという事を学びました。

例えば、アレルギー食品対応のお店で聞いたように小麦を使わずに米粉で代用したケーキなど、新たな発見をする事ができ、探究を進める上でチームワークが必要になる場面が沢山ありましたが、自分から積極的に動いたり発表に向けて意見を言い合ったりなど一人一人が良い方向に成長出来たと思います。

参考文献

「卵、小麦粉無し、米粉とおからのドーナツ」

<https://cookpad.com/recipe/3105927>/2024年1月25日

「わからない」をなくす授業とは



宮城県角田高等学校 2年次 澤井ななみ 佐藤 真美

1 テーマ設定のきっかけ（理由）

将来教員になりたいと考えており、わかりやすい授業をしたいと思っている。現在学生の私達は、先生によって理解度が違うと感じている。それはなぜなのか、またどんな授業がわかりやすく、どんな授業がわかりにくいのか知りたいと思った。



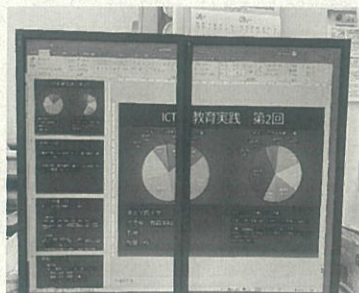
2 校外研究で調査したこと

東北学院大学 文学部 教育学科 加藤 卓 様

質問：授業を作る上で工夫していることは？

驚きや発見を授業の中で見つけ、概念を変える。そのために、スライドのデザインやフォントを工夫し、自分の面白いと思った教材やネタを生徒に共有し噛み砕いて伝える。手作りの教材を使用し、今までにない授業を経験させる。

⚠ 簡単すぎ、難しすぎを作らない！生徒のレベルを知る為にプレテストを実施



教授が実際に使用しているスライド

生徒が集中できる
オフホワイトと、
ブルーブラックを
使用

3 描きたい未来・社会 （探究テーマにおける理想の状態）

将来自分が1人でも多くの生徒の疑問を解決し、学習が楽しいと思ってもらえる未来



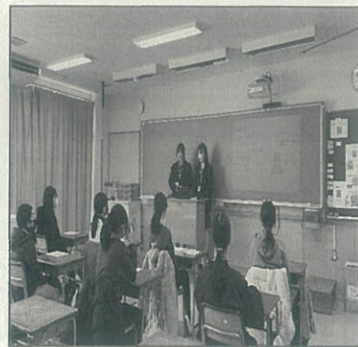
4 解決アクション案

プロジェクト名

「わからない」がなくなる！？高校生と一緒に学ぶ会

目的

実際に教える立場になり、学習者と直接かかわることを通して、教えることの難しさや、どんな授業をしたらわかりやすいのか計3回実施し探究する。また、小学生は、高校生と学習することを通して、「どこが分からないのか」を知り、知識を深める中で、「わからない」が解決したときの達成感や学習することの楽しさを再認識する。



結果

実際に教える立場になって一回、二回目は小学生が飽きてしまったり、わかりやすい説明が難しく思うように伝わらなかったというのが反省だった。三回では説明が詰まる部分があったが、一生懸命取り組んでくれて充実した時間になった。

5 考察まとめ

普段受けている授業でも、たくさんの工夫やICTの活用がされていることがわかった。インタビューしたことをきっかけに、私たちはもっと大切に授業を受けようという意識が高まった。少しでも楽しく学べる授業をする為には、自分の知識を紹介することや、面白い教材が必要だと気づいた。また、児童がわかりやすいと感じるには前回の問題と比較して「ここが同じ」と比較することや例の問題を出すことで苦手を改善して理解が深まっていたと感じた。

聴覚障がいのある人となない人が 雑談するにはこういった工夫が必要か

宮城県角田高等学校 2年次 高橋美優



目的: 聴覚障がい者が孤立せず、話の輪に入れる様にする

背景: 病気の進行により、以前と比べてできない事が増えたから

調査アクション! 聴覚障がい者の現状【校外研修先: 聴覚支援学校】

- ・宮城県内には手帳を持っている聴覚障がい者が**6000**人いる。
- ・目に見えない障がいのため支援を受けづらい。
- ・音声情報が取得出来ず緊急時に逃げ遅れる可能性が極めて高い。



問題: 誰かに通訳してもらわないと円滑な意思疎通が出来ない

問題①

「圧倒的情報不足」

音声情報が入って来ないためテレビの音声や授業での先生の声などが聞こえず、授業や話についていけない。

また、車のクラクションや緊急通報も聞こえないため場合によっては命に関わる大問題。視覚情報が足りない。

問題②

「コロナ禍によるマスク生活」

最近インフルエンザも同時流行しているため、より一層口元のガードが固くなってしまい、口話が出来なくなった。

※口話: 唇の動きや表情から推測し話の内容を読み取る読話と訓練により音声で話せるようになる発話を用いてコミュニケーションを行う方法の事。

問題③

「見た目で分からない」

見た目では障がいの有無が分からないため誤解されることが多い。主に、口話を用いている人は特に誤解されやすい。

聴覚障がいに対する認知度が低く、良かれと思つての行動がかえって聞き取りの妨害をする事がある。

解決アクション: 様々なコミュニケーションツールの活用と自己発信

工夫①

「音声変換アプリの活用」

メリット: ボタンを押すだけで自動で音声や文字になるため操作が楽。
デメリット: 誤変換が多い。ラグが発生する。

⇒話を推測しながら読まなくても良いので授業や講演会等の長時間使用に最適。

工夫②

「紙やスマホでの筆談」

メリット: いちいちアプリを起動する手間がない。声を出しづらい場面でも書いて伝えられる。
デメリット: 断られる確率が高い。業務連絡だけになり会話にならない。

⇒誤変換などは無いが会話にならず雑談には程遠い。最終手段としての使用が望ましい。

工夫③

「トリセツ、マークの活用」

メリット: 目に見えない障がいを周囲に効率よく伝える事が出来る。
デメリット: 認知度が低く何の障がいなのか正しく伝わらない。

⇒文字入り缶バッジ等を使用した方が支援が必要な事を周囲に伝えられる。

まとめ: 様々なコミュニケーションツールの使用により得られる情報量は格段に増えたが、それぞれにメリット・デメリットがあるためその人に合ったコミュニケーション方法を選択することが大切である。
ヘルプマークやトリセツ等での自己発信は効果絶大。今後も継続。

描きたい社会: 障がいの有無に関わらず誰もが雑談出来るような社会

今後の展望: 物理的なバリアだけではなく”心のバリア”を無くしたい!

間違えやすい言葉

インコ⇨リンゴ	英語⇨毛糸	1【いち】⇨7【しち】
寿司⇨雪	音符⇨豆腐	8個⇨100個
海鮮⇨大変	当然⇨応援	2個⇨1個



人間の不安を減らすにはどうしたらいいか

宮城県角田高等学校 2年次 本田沙良 松本日菜璃 荒川小梅

テーマ設定のきっかけ・背景・目的

- ・トラウマの原因が気になったから
- ・不安の緩和法を知りたかったから
- ・人前に立つ時などの一時的不安はどう発生し、対処すれば良いか気になったから

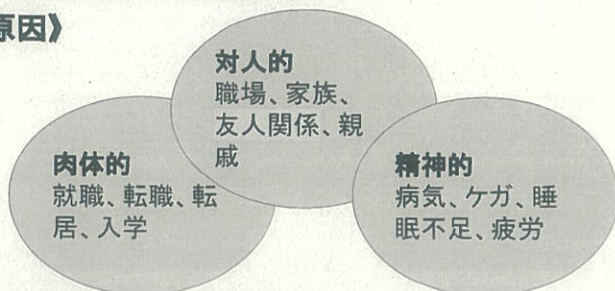
調査アクション

調査①(校外研究先:宮城学院女子大学)

Q.ストレスとは?

A.仕事や生活環境などで心身に過剰な負荷がかかってゆがみが生じること。

《原因》



《解消法》

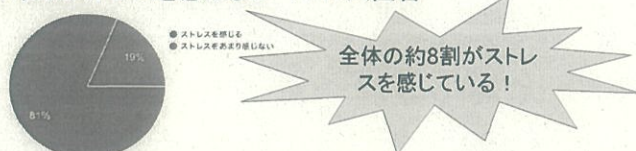
深呼吸、運動、音楽
(自分がリフレッシュ
できることをする)

《対処法》

笑う、友達や家族に相談する
(自分が幸せを感じられることを
作る。実行する。)

調査②(アンケート調査)

Q1.普段ストレスを感じるか /117人回答



Q3.どんな場面でストレスを感じるか /113人回答

ストレスを感じる時	票数
1位 うまくいかない時	11
2位 怒られた時	10
3位 嫌なことがあった時	8
4位 寝れない時、学校に行く時	6

やっぱりうまくいかないとストレス溜まっちゃうだね～

Q2.落ち込んでいる時どんな言葉をかけられたら嬉しいか /110人回答

かけられて嬉しい言葉	票数
1位 そっとしておいてほしい	13
2位 頑張ったね	11
3位 応援してるよ	6
4位 共感してくれる、慰める	5

みんなそっとして欲しいんだねー!

描きたい未来・社会

- ・不安を持つ人が1人でも減り、生活しやすい環境がある未来
- ・自殺したいと思う人がいなくなる社会
- ・人の心がもっと気軽になれるような未来

参考文献

こころの耳「ストレスとは」厚生労働省ホームページ <https://kokoro.mhlw.go.jp/nowhow/nh001/> 2024年1月19日

解決アクション

プロジェクト名

【ポジティブ変換LIFE!】

プロジェクトの目的

- このカレンダーを通してポジティブになれる人を1人でも増やすため。
- 悩みや不安を持つ人や、落ち込んでいる人へ少しでもの助けになるため。
- カレンダーを通して、見る人が「そういう考え方もあったんだ」と思い、考え方の視野を広く持てるようにするため。

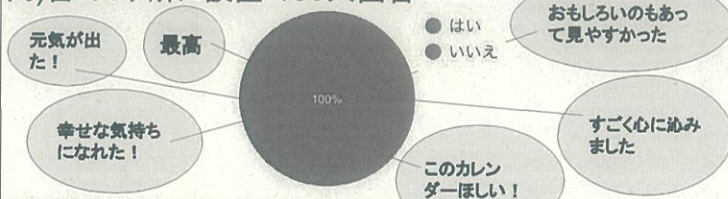
プロジェクトの方法

【ポジティブ★変換カレンダー】

- ・カレンダーを作成し、それを見た人がどう感じて、どう考え方が変化するのかを調査する。
- ・誰かを励ますような、当たり前のように過ごしている毎日にハツとなるような言葉や文章を考え、カレンダーとして30日分を作成する。

プロジェクトの結果

Q.カレンダーを見て明るい気持ちになったか校内、校外(市内)含め5ヶ所に設置 /50人回答



《実際のカレンダー》



考察・まとめ

何か嫌なことがあった時、話しかけられるよりそっとしておいてほしい人にとって「ポジティブ変換LIFE!」プロジェクトのカレンダーは元気を与えるものとなった。また、角田市内3ヶ所、校内2ヶ所に設置したことにより、明るい気持ちになった人が少し増えた。このことから、ポジティブ感情は元気の源であり、人間にとって必要不可欠なものなのではないかと思った。

今後の展望

- ・カレンダーの質をグレードアップする
- ・ポジティブ変換★カレンダーをもっと手に取りやすくし、様々な人に見てもらえるよう改善していきたい
- ・ポジティブ変換カレンダー以外にもスマホで見たり、使えたりするようなスタンプなどにも挑戦したい。